

# CO<sub>2</sub>排出削減へ 植物由来ごみ袋



生物由来の資源を活用し、品質や規格等に合致している環境商品に付与できる「バイオマスマーク」も取得した。同市は生ごみ以外指定のごみ袋はないが、市全体で環境保護に向けた意識の啓発

## 藤枝市など3月から導入

藤枝市と市環境衛生自治推進協会は3月から、植物由来成分を使用したごみ袋を導入する。ジャガイモの皮など廃棄物のデンプン成分入りの樹脂を10%以上使用して、ごみ袋焼却時の二酸化炭素排出量の削減につなげる。

## 環境保護の意識啓発

生物由来の資源を活用し、品質や規格等に合致している環境商品に付与できる「バイオマスマーク」も取得した。同市は生ごみ以外指定のごみ袋はないが、市全体で環境保護に向けた意識の啓発

45粒ごみ袋10枚入りで100円(税込み)。5千袋(5万枚)を市役所南館の市生活環境課と市岡部支所で3月から試験的に販売する予定。問い合わせは市生活環境課△電054(643)3681へ。(藤枝支局・寺田将人)



生産者が自己審査を行った基準更新会作りへ意識を新たにした。

「よりよい農業の実践に向け「FUSAS」を推進し、必要に応じて自己流の作業ルールを見直すことも提案した。

夜間  
10時  
一英